

新造タグ「早令丸」竣工

早駒運輸 神戸港投入で最大馬力

早駒運輸(本社・神戸市、渡辺真二社長)が金川造船で建造していた4400馬力型新造タグボート「早令丸」(199総トン)が竣工し、9日、神戸港で関係者に披露された。令和になって同社初の新造船で、神戸港のタグボートでは最大級の馬力となる。

新造船は、同社が神戸港に投入するタグボート3隻のうち、1987年に竣工した2600馬力型タグ「早風丸」の代替船として、入港船舶の大型化に対応し

建造された。

中突堤に着岸した船内では、神事により入魂式が執り行われた後、神戸市と神戸観光局港湾振興部による初入港歓迎セレモニーを開催。市港湾局の辻英之局長が岡本大介船長に記念盾を贈り、新造船就航を祝った。

続いて行われた懇親会で、渡辺社長は「神戸港に新造タグボートを投入するのは約30年ぶり。(新造船投入を機に)さらに神戸港活性化の一助になれば」とあい



㊦竣工した「早令丸」
㊧あいさつする渡辺社長



さつ。建造した金川造船の生駒剛人社長が謝辞を述べ、吉田正彦・神戸運輸監理部長と辻英之・神戸市港湾局長が新造船竣工の祝辞と今後の安全運航を祈願した。